

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業用)

事務事業名		担当部課		部課コード	110200	2998-9208			
事業コード	ファルマン通り交差点改良事業			市街地整備課					
110205	開始年度 平成 26 年度			終了年度 平成 32 年度		グループ 街づくりグループ			
事業の概要	事業の種類	土地利用	土木建設	建築	補助	単独	単年度	複数年度	
	根拠法令	都市計画法、道路法、所沢市街づくり条例等							
	分野別計画・指針	所沢市街づくり基本方針、所沢駅周辺まちづくり基本構想、所沢市中心市街地活性化基本計画等							
	関連・類似事業	日東地区まちづくり事業(市街地整備課)							
	総合計画の体系	章 街づくり	節 市街地整備	基本方針	市街地開発事業等を推進します				
事業開始の背景・目的(どのような経緯で、どのような効果を目指して実施しているのか)	都市計画道路御幸通り線と中央通り線(県道久米所沢線区間)は、中心市街地における大規模災害時に広域避難場所である航空記念公園への避難路や延焼防止帯の機能を果たす重要な路線であり、平成9年に御幸通り線の都市計画の変更決定(幅員12m 32m、延長480m 420m)が行われた。中でもファルマン通り交差点の改良を優先的に行うことは、当該交差点南東側の日東地区の街づくり事業として事業化を進めている組合施行の所沢東町地区第一種市街地再開発事業で道路整備を予定していることから、都市計画道路中央通り線・所沢浦和線の拡幅整備時期に合わせて交差点改良事業を進めることで、当該交差点の交通処理能力と歩行者の安全性の向上を図る最適な時期となった。								
事業の内容	事業の内容・実施方法(最終的にどのような状態を生み出そうとしているのか、そのためにどのような方法・手段を用いるのか)								
	ファルマン通り交差点の南東側で組合施行により事業化が進められている所沢東町地区第一種市街地再開発事業により整備される都市計画道路中央通り線及び所沢浦和線の拡幅整備に合わせ短期間で交差点全体の改良整備を行い、交通渋滞の解消や歩行者の安全性の向上を図る。そのために、平成26年度に交差点に結節する都市計画道路御幸通り線側を含めた交差点改良の予備設計と現地調査及び用地測量を行い、27年度には用地取得に向けた不動産鑑定評価を行った。今後は、平成33年度の再開発事業の完成時期に合わせるために、用地取得に向け権利者交渉に必要となる建物等物件調査を行う。さらに、平成30年度までに交差点改良に必要な都市計画道路御幸通り線の用地取得を行い、平成32年度までにファルマン交差点全体としての工事完成を目指すものである。								
	事業開始後の環境変化(人口や需要量見込み等の社会経済情勢の変化、自然環境の変化等)とそれに対する対応								
	日東地区及び銀座地区に近接する当該交差点は、両地区の街づくりに係る開発事業に大きな影響を及ぼすと考えられる。平成26年度は、日東地区内で約300世帯を超える大規模マンションが建設され、銀座地区においても約130世帯の大規模マンションが竣工している。さらに、ファルマン通り交差点南東側で事業化を進めている、組合施行による所沢東町地区第一種市街地再開発事業では約150世帯の大規模ビルが建設される予定である。こうした周辺環境に対応して行くためには、変則的なファルマン通り交差点を正十字に近い交差点に改良し、交差点処理能力と車両通行の安全性の向上を図るとともに、歩行者の滞留スペースを確保することで、安全な市民生活を確保する。								
	事業費概要(千円)	事業開始時の総事業費予定額	593,600	事業の進捗率	平成28年度の事業内容及び平成29年度以降に予定している事業内容の概要				
	事業費累計(平成27年度まで)	3,926	1%	平成28年度は、用地取得に向けて、建物等物件調査を行い、関係権利者と交渉を進めていく。 平成29、30年度は、用地を取得するとともに、交差点改良の詳細設計を行う。 平成31、32年度は、交差点改良工事を行う。					
平成28年度実施計画における事業費	平成28年度	8,099	2%						
	平成29年度	147,891	27%						
	平成30年度	187,706	59%						
	現時点での総事業費予定額	617,800	平成 32 年度終了予定						
経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)				
	予算現額		326	687	8,099				
	決算(見込み含む)		3,133	793					
	(非常勤特別職員)	(臨時任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)			
	正規職員人件費		0.88人	7,674	1.21人	10,479			
	事業費合計		10,807	11,272					
	財源内訳	一般財源	10,807	11,272	8,099				
	国・県支出金								
	その他()								
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	ファルマン通り交差点改良に向けた進捗状況	交差点改良までに必要となる各段階の手続き等の事業進捗を図る		目標値	交差点予備設計、用地測量等	不動産鑑定評価	建物等物件調査	用地取得
	目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	****	****	どちらかをチェックしてください	
	成果指標設定理由・目標値の考え方	権利者等の理解を得ながら、所沢東町地区第一種市街地再開発事業により整備される都市計画道路中央通り線及び所沢浦和線の拡幅整備に合わせ、交差点全体を一体的に整備することが目標であり、様々な手続きや権利者合意等が必要となることから、各年度の進捗状況を成果指標とした。							
評価	事業計画見直しの必要性	理由及び今後の方向性							
		<input type="checkbox"/> 見直しの必要あり	所沢東町地区第一種市街地再開発事業により整備される都市計画道路中央通り線及び所沢浦和線の拡幅整備に合わせ、交差点全体を一体的に整備するために必要となる各段階の手続き等の業務を進める。						
		<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし							
評価の必要性	総事業費見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要あり (<input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了) <input type="checkbox"/> 見直しの必要なし							
	上記評価の理由	所沢東町地区第一種市街地再開発事業により整備される都市計画道路中央通り線及び所沢浦和線の拡幅整備に合わせ、交差点全体を一体的に整備することから、用地の取得及びそれに伴う補償費に対応するため。							
	評価日	H28.7.21	評価者職氏名	市街地整備課長 遠藤 弘樹					
環境影響	有益な環境影響	1-1地球温暖化対策の推進	4-1大気汚染の防止	有害な環境影響を及ぼす原因活動	市街地整備	規制を受ける環境法令等	無		
						緊急事態	無		